

「星の降る里・SUZUKI天体観測所」  
Yasushi Suzuki



地域の子どもたちに星を見せてあげたい

天の川が見える美しい星空が魅力

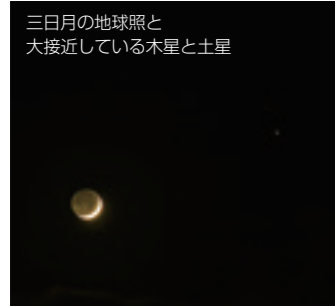
「星の降る里・SUZUKI天体観測所」 鈴木 靖さん

広野町で生まれ育った私は福島高専を卒業後、現コニカミノルタに入社。転勤生活を送っていましたが、東日本大震災をきっかけに、この町に住むことで地域に貢献したいと思い、定年退職を機に妻と広野町に戻ってきました。私は子どもの頃から星が好きで、仙台に勤務していた1985年、広野町内に「星の降る里・SUZUKI天体観測所」を建設。地域の子どもたちに星を見せてあげることが老後の楽しみにしてきました。

広野町では天の川がきれいに見えます。環境省が選定する星がよく見える場所にも7期連続で選ばれているんですよ。私が町を離れている間、天体観測所は兄弟夫婦が守ってくれていました。兄は震災の翌年に亡くなりましたが、生前は子どもたちを集めて星空観察会を開催していました。観測所が今もあるのは兄のおかげです。現在は、広野町公民館主催の星空観察会を年3回ほど開いています。また、いわき市内の小学校などでも子どもたちに星空を見せる活動に参加しています。広野町には40年ぶりに戻ってきましたが、私自身は快適に生活しています。ただ、20年以上東京で暮らしてきた妻にとっては、病院や買い物をする場所、電車の本数の少なさが不便に感じるようです。最終的には私の気持ちを理解して一緒に来てくれたので感謝しています。



「星の降る里・SUZUKI天体観測所」



三日月の地球照と大接近している木星と土星



◀移住・定住ポータルサイトHIRONO STYLE[移住者の声]

星の降る里・SUZUKI天体観測所 住所/〒979-0404 福島県双葉郡広野町折木 ※一般公開はしていません

「ホテルオーシャンいわさわ」  
Kentaro Yoshida



ふるさとの海で  
趣味のサーフィンを満喫しています

アメリカ留学、就職を経てのリターン

「ホテルオーシャンいわさわ」 吉田 健太郎さん  
支配人



▲ホテルオーシャンいわさわ



▲いわさわグループ

広野町で生まれ育った私は、震災と、父が体調を崩したことがきっかけでリターンし、家業である旅館業を引き継ぎました。現在は副社長としてホテルの運営にあたっています。私の一日は子どもをこども園に送っていくことから始まります。その後、仕事までの時間は海へ出てサーフィン。ホテルのお客さんと一緒に楽しむこともあり、海から上がった後は夜までホテルの仕事です。休日には家族で近隣のまちなりに買い物に出かけたり、二ツ沼総合公園や、榎葉町の天神岬に遊びに行くこともあります。

スポーツやアウトドアが自然に溶け込んでくるような生活ができるということ。サーフィン、サイクリング、サッカーなど、運動しやすい環境が広野町にはあります。アウトドアも気軽に楽しめるので、家族を交えて、お客様とパークキューすることも多いです。ただ、車がないと不便なことや、観光で来た人が買い物や食事を楽しめるようなところがまだ少ないと感じています。お客様におすすめていただけるスポットが増えれば、町ももっと潤うのではないかと思います。サーフィンは今でも各地の大会に出場していますが、今後は将来オリンピックを目指すような、子どもたちの育成にも力を入れたいと思っています。

色々なスポーツに携わる人たちと連携し、ホテルを拠点にできることは少なからず、お客様の中でも、何度かサーフィンをしに来るうちに、移住したいなという方もいらつやいます。広野町の魅力を感じてくれる人がもっと増えてほしい、と思っています。

移住・定住ポータルサイトHIRONO STYLE[移住者の声]

ホテルオーシャンいわさわ 住所/〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字岩沢 31-85 電話/0240-23-5460

